

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
 摂南大学校方学会7号館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.3)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>			<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.2</b>	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		<b>3.6</b>	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能	T-2以上とした	5.0	0.30	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.30	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.1.1 室温		3.0	0.60	3.0	-	
2.1.2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
2.1.4 ソーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	-	-	3.6
3.1 屋光利用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.1.1 屋光率		3.0	0.60	3.0	-	
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3.1.3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 屋光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.2.3 機可視対策		-	-	-	-	
3.3 照度	居室の照度は500lx以上を確保	<b>4.0</b>	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御	各室単位で照明制御と中央監視盤での照明制御が可能	<b>5.0</b>	0.25	3.0	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-	3.3
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 タニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		<b>3.3</b>	0.30	-	-	
4.2.1 換気量	居室の換気量は30m <sup>3</sup> /h以上を確保	4.0	0.33	3.0	-	
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	大学において建物内禁煙(屋外喫煙スペースのみ喫煙可能)	5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	3.6
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
1.2.3 内装計画	学生がを生き活きとできる、シンプルな内装を模型等を用い検討し	4.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	清掃性、メンテナンス性の高いクロス・タイルを選定した。	4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	維持管理しやすいよう、素材を選定している。	4.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.7</b>	0.31	-	-	3.7
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	建築基準法に定められた耐震性の25%増を確保	4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.8</b>	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイルを使用(剥落に配慮)	5.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	タイル・ゴム床タイル・タイルカーペット・ビニルクロスを使用	4.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:PE若しくはHI, 排水通気:耐火二層管を採用	5.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブルも採用し、地盤高さがある為浸水の危険性なし	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.8	0.29	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高4200(最少3900)	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	純ラーメン構造の為、耐力壁無し。	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重: 2900N/㎡以上を確保	4.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		キャンパス全体で建築群としての景観にとくに配慮している	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	立体的な外部テラスを設けている	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	ピロティ、緑地を積極的に設け、かつ室外機はすべて屋上に設	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.1	0.30	-	-	2.1
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	地熱利用対応空調システムを採用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電システムを採用	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		EER値: 26.8%	4.5	0.30	-	-	4.5
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=26.8%	4.5		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水型便器及び女子便所には撮音装置採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用を行い植栽散水へ利用	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	外溝:再生加熱アスファルト混合物、再生骨材	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	同一キャンパス内に十分な駐車場を設置	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	